

岡田メモ：乳幼児保護条例について（幼子を守る活動）

もう40年近くも前のことですが、休日にドイツの湖畔をドライブ中にコーヒーが飲みたくなり、車を停めて妻と路傍の売店に行こうとすると、通りすがりのカップルが駆け寄ってきて、「子どもを残して行ってはだめ！」と言うのです。

息子たちは後部座席でぐっすり眠っているし、売店はすぐそこなのにと不満でしたが、ドイツではこれは違法行為だということです。

その後、日本で乳幼児の死亡事故を見聞するたびにこの体験を思い出します。最近も熊本のスーパーで、3歳の女兒が1人でトイレに行行って殺されるという悲惨な事件がありました。

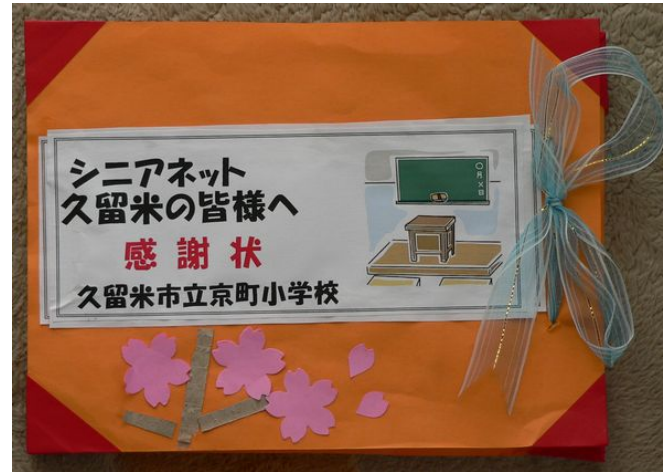
ご両親には本当にお気の毒ですが、幼児をひとりにしてはいけません。

調べてみると、先進諸国には必ず「こども保護法」があり、幼い子から目を離してはいけない、と定められています。

ところが日本にはこのような法律がないのです。そこでSNKでは、先ず久留米市議会に「乳幼児保護条例」制定の請願を行うことになりました。

一片の条例で子どもたちが守られるというものではありませんが、社会一般、とくに保護者の自覚を促す効果があるものと期待している次第です。（理事 岡田哲也）

子どもたちからプレゼント 教育支援グループ



桜の季節、小学校は新学期です。4月になればそれぞれ進級し新しい2年生がやってきます。私たちは先生の補助として、勉強で「困った、ここが分からない」という子どもにヒントを与えて勉強を手伝います。チャレンジタイムは復習の時間です。写真は京町小学校2・3年生の生徒が書いた感謝状、表紙は先生が付けました。（理事 一ノ瀬尚文）

街頭募金活動



被災者へ愛をこめて



（あとがき）大自然の猛威は、その規模と被害の大きさに日本を震撼させた。ニュースは全世界へ、インターネットを通じ瞬時に伝えられた。被害の概要は地震、津波、原発と進み、その情報がもたらす脅威は放射能汚染という新たな恐怖へと変わる。各国のマスコミも、その恐怖を連日伝えることになる。被災者救援へ、募金活動は全国へ広がった。我々も同時に「救援」の募金活動を始めた。被災した隣人に人間の心を届けたい、と久留米駅前『街頭募金活動』に取り組んだ。活動は久留米市民の大きな共感を集めた。BBC放送は「秩序正しく冷静で忍耐強く、勇敢にして献身的なおとなしい日本人」と震災に遭遇した人々を評価した。日本人が試されている。復興へ難問は多いが、震災は日本をひとつにした。東日本を襲った大震災、2011年3月11日を忘れない。（弐）

SNK

SENIOR

NET

KURUME

編集・発行
NPO シニアネット久留米
理事長 今津一躬
久留米市荘島町 13-1
TEL 0942-46-2277

東日本大震災について募金活動を始めました



東日本大震災に伴う被災者緊急援助の募金」期間は3月19日～24日（23日を除く）5日間実施し、予想を上回る1,100,023円の金額を預かることが出来ました。未曾有の大災害への暖かい支援の気持ちが私達に強く伝わってきました。

この募金は3月28日西日本新聞社久留米総局を訪問し寄託しました。日本赤十字社を通じて被災地区へ届けられます。

3・11大震災が発生してすぐSNKは募金活動を始めました。この大震災への救援策は相当長期的に継続すると思われますが、緊急的に街頭募金活動を実施したい、と提案が湧きあがりました。私達の活動が、市民の皆さんに伝わり支援の輪が広がることを期待して実施しました。

街頭募金活動を開始するに当り、理事会では平岡清志理事を現場責任者とし、久留米警察署の許可証を得て、西鉄久留米駅東口周辺で募金箱を持ち拡声器を使用して、通行人に募金を呼びかけました。

この街頭募金は、SNK初めての体験でしたが準備調整会議を開催、マニュアルの説明、担当場所の配分、部署責任者の任命、SNKスタッフジャンパーの着用、募金箱・SNKの幟など必要なきめ細かい準備を致しました。生憎、寒い日が続いたにも拘らず、延べ91名のSNKスタッフが参加していただきました。こうしたことが立派な実績に繋がったと思います。SNKは、会員を対象として募金活動を継続します。皆さんのご支援・ご協力をお願いします。（理事長 今津一躬）

募金会場ではトランペットの音色で呼びかける。
寒さの残る北国に早く春が来て欲しい…
道行く人へ呼びかける♪Amazing Grace♪



孫も募金活動に頑張る、道行く人の顔がほころぶ 短い時間だが善意に溢れた顔が募金箱に間に確認しあう「頑張ってください」「ありがとうございました」御協力に感謝します、駅前に小さな助け合い社会が生まれた若い人もシニアも主婦もサラリーマンも、思いを伝えるように募金箱へ、遠い地の不幸へ、私の意志を入れる呼びかけるSNKの皆さん、募金に応じる町の人、街頭募金で駅前に流れたのは♪アメージンググレース♪

右写真、街頭募金活動で声を合わせて募金のアピール
上写真、五日間の募金で集まった久留米市民の善意
を、西日本新聞社を訪ね寄託する、日本赤十字社へ
左写真は街頭募金の風景、幼い子供も募金のお手伝い

**2011 年
3月11日**

311 東日本大震災

M9.0の巨大地震、その後に発生した大津波、家を破壊され、なにもかも失った地域の隣人を助けよう、とSNKは街頭へ出かけ、久留米市民へ呼びかけた。



街頭募金活動リーダー 平岡清志

5日間にわたる東北・関東大震災の被災者援助募金活動は、3月24日をもって全日程を無事終了しました。

雨の中、寒い風中にも拘らず、長時間の街頭募金活動に参加下さった皆様、また、募金にお越しくだ

昔話を語ろう会ではこの人の右に出るものはいない、という熱血漢

さいました皆様、そして、本活動を影から支えて下さった皆様に、心より感謝と御礼を申し上げます。

活動期間中、皆様のご協力により事故がなかったことが何よりと、喜んでおります。実行者を代表し、厚く御礼を御申し上げます。

さて、嬉しいことに、本期間中の街頭募金総額は、1,100,023円と、目標の百万円を上回る事が出来ました。是もひと重に被災者を思いやる皆様の熱意の賜物であると感じています。

この募金は、今後SNKの中で処理の手順を踏み、近日中に西日本新聞社・日本赤十字社を通じて、一日でも早く被災者や被災地の元に届くように致します。

今回、街頭募金は、SNKとして初めての活動でしたが、此の活動を通じ、SNKの皆様の熱い力や結束力を再発見いたしました。この力は、次の活動にきつとつながってくるものと確信しております。最終日3月24日の活動結果と期間中の結果をご報告いたします。

**街頭募金総額 百十万円を超えました。
西日本新聞社・日本赤十字社を通じて被災者や被災地に届き、皆さんの役立つよう手続き致します。**



【結果報告】

1. 実施期間 : 平成23年3月19日～3月24日
2. 実施場所 : 西鉄久留米駅東口ロータリーの岩田屋前付近
3. 実施時間 : 13:00～17:00
4. 活動人数 : 5日間の延べ人数は91名でした。
5. 募金額 :

◆3月19日	250,129円
◆3月20日	150,094円
◆3月21日	147,345円
◆3月22日	271,000円
◆3月24日	281,455円
6. 募金総額 : 1,100,023円
※3月28日西日本新聞社久留米総局へ寄託、日本赤十字社へ
7. 反省会 : 活動の反省会は約25名、盛会でした(太田)参加された方は勿論のこと、どなたでも参加自由。
8. 反省会開催要項
日時、会費など: 3月31日PM、津福サロン 会費1000円
(街頭募金活動リーダー 理事 平岡清志)

2011.3.11 東北地方太平洋沖にてマグニチュード9.0 超巨大地震が発生した。それに伴う大津波により海岸線から平地へ、また川上へ遡った津波は農村地区の家や畑、ハウス栽培など根こそぎ押し流していった。又、福島原発も被害を受けて被災地は大混乱をきたしている。各地の支援団体やグループによる援助は始まったものの、未曾有の大事故によりライフラインは切断され、必要な電気、ガス、水道は機能しないまま余震に脅える日が続く。現地は悲慘の中で新たな出発を待っている。

東北太平洋沖に発生した数百年に一度といわれる大地震は、日本観測史上これまで経験しなかった、マグニチュード9.0と超巨大地震だった。その後、発生した超巨大の大津波は沿岸部から内陸部を破壊した。

NHK-TVは、即時に、克明にその被害の大きさを連日伝えた。新聞も被災した東北各県の現状を伝えたが、中央紙と地方紙では明らかな情報量と質の差を覚えた。福島原発一号、二号ともに被災し、原子炉の破壊は時間が経つにつれ、別の恐怖をもたらした。

原子力発電所の破壊は、放射能漏れを引き起こし重大な危機をもたらしている。想定外の強い自然の猛威を受けて、人間の社会は一瞬にして破壊された。人間の過信による原子力発電という文明は、放射能汚染という二次災害で応えた。世界が見守る中で、その汚染防止に懸命な努力が払われている。この項2011.3.25現在



おそろいのジャンパーが良く似合うシニアたちは、雨の日も寒い中であっても募金箱を胸に道行く人へ声をかける。「頑張ってください」と声援を受けた。

カード〈マルチナ〉。 4708 CHIKU

あなたのまちの 筑邦銀行

※詳しくは窓口にお問合せください。

手づくりみそ 材料セット
おみその学校

会社案内

(有)カネダイ

福岡県朝倉郡東峰村宝珠山7
フリーダイヤル: 0120-303039
フリーFax: 0120-320-820

NP0 シニアネット久留米は街頭募金により久留米市民の浄財を預かりました。私たちの活動はささやかなものですが、募金に賛同いただいた久留米市民から被災地へ贈る誠意です。僅かですがお役に立てることを願っています。